

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

佐藤 渉史 (さとう しょうじ) 株式会社アイホー 東京支店 病院福祉課 係長

家庭用でIHクッキングヒーターの普及が進むなか、業務用でも電化厨房に注目が集まってきている。病院、福祉施設、給食センター、飲食店…厨房環境の改善やコントロールの容易さなど、より良い厨房を目指した取り組みが進んでいる。これら電化厨房の事例をシリーズで紹介していく。今回は「渋川医療センター」の事例を取り上げる。

1. はじめに

渋川医療センターは昭和19年に日本医療団大日向荘として開設、その後厚生省に移管され昭和55年に国立療養所西群馬病院へと改称した。平成28年4月に渋川市立渋川総合病院と再編統合し、国立病院機構渋川医療センターとして開院した。北毛地域の基幹病院として、地域の高度医療を担っていくことになる。



写真1 渋川医療センター外観

2. 施設概要

名称 : 独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター 新築工事

所在地 : 群馬県渋川市白井 383
 構造 : 地上 7F 鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
 地下 1F
 病床数 : 450 床 / 23 診療科目
 竣工 : 平成 28 年 4 月 1 日
 設計者 : 株式会社梓設計
 建築工事 : 大成建設株式会社
 厨房機器 : 株式会社アイホー

3. 厨房設備概要

提供方法 : 温冷配膳車 12 台
 調理方法 : クックサーブ方式、クックチル方式、真空調理法式併用型
 主要機器 : 電気式スチームコンベクションオープン
 20 段式 3 台
 10 段式 1 台
 ブラストチラー 20 段式 2 台
 複合真空冷却機 80kg タイプ 1 台
 冷水チラー 150ℓ タイプ 1 台
 IH 式回転釜 2 台
 IH 調理機 6 台
 IH 式ローレンジ 2 台
 電気式角釜立体炊飯器 3 台
 真空包装機 2 台
 ホットパック充填機 2 台
 プレハブ冷蔵庫 2 台